BSS ご加入ユーザーさまへ



2024 年度 PC-MAPPING 機能追加・更新情報のご報告

第2版 2025年3月24日 現在

株式会社マプコン

[アーク・ノードからポイント生成]コマンドパラメーター追加	3
[矩形ポリゴン指定による連続印刷]コマンドパラメーター追加	3
URL 指定での標高タイルデータ(PNG)の取り込み	3
[レイヤー縮尺の変更]の追加	3
[Web メルカトル タイル画像エクスポート]オプション追加	4
[GPS ログから軌跡ベクター生成]オプション追加	4
[作図]-[長方形ポリゴン追加]追加	4
[編集]-[編集]-[正規化]-[ベクターデータの合わせ込み変換 2]オプション追加追加	5
[地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像背景表示設定]タイルデータのサイズ	5
[ポリゴン 3D ビュー設定]オプション追加	5
[同一属性要素群重心ポイント生成]追加	6
[ベクトルタイルインポート]ダイアログボックス オプション追加	6
[広域ベクター]パネルへ「削除」ボタンを追加	6
[作図]-[多角形アーク]オプション追加	7
[文字列マスクポリゴンの生成]オプション追加	7
[アークの表示文字列をアーク長に合わせた注記ポイントを生成]追加	7
広域ベクターをキャッシュとして利用するベクトルタイルデータの自動ローディング機能	8
プロジェクトキーリスト・コマンド定義追加	8
[UAV コース調整・出力]オプション追加	8
計算フィールド関数追加	9
コマンド「VideoPlay2」オプション追加	9
[インポート]-[GeoCSV]追加	. 10
[インポート]-[GeoCSV]追加	. 10
[エクスポート]-[GeoCSV]	. 10
「AttrSrchAll」コマンドオプション追加	. 10
[GeoTiff から MBTiles ファイルの生成]追加	. 10
[JPEG ファイル(属性フィールド)への位置座標付与]オプション追加	.11
[構成メッシュの結合]ダイアログボックスオプション追加	.11
[エクスポート]-[GeoPackage(GPKG)ファイル]追加	. 11
起動オプション追加	. 12
[編集]-[文字列編集]メニューの追加	. 12
[ポイントの表示文字列毎にポイントレイヤーを生成]追加	. 13
[集計・統計処理]・[クロス集計]表示の変更	. 13
[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]へ画面抑制追加	. 14
[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]ヘメイン画面抑制追加	. 15
[PVP 設定]-「保存完了後、ZIP ファイルに集約する]追加	. 15
[プロジェクト間レイヤー比較]追加	. 16
[標高]-[編集]-[構成メッシュの結合]機能追加	. 16
図郭コード等算出(コンパクト表示)追加	. 17
[GPS ログファイル(複数可)と対応する動画ファイルとのリンク]を追加	. 17
[同一属性要素間アーク作図]コマンドオプション追加	. 18
[TIN、標高メッシュからの Z 値付与]コマンドオプション追加	. 18
[選択状態転記(レイヤー内)]へ転記方法の追加	. 18
[プロジェクト間接合チェック]-「Z 値比較」追加	. 18
[アーク属性照会]ダイアログ-[座標リスト]ウィンドウへ表示の追加	. 19
「360 度のパノラマ写真 JPEG ファイル」の GPANO タグに関しての追加	. 19
[属性データ表示制御]ダイアログボックス-「保存・読込み」の追加	. 20
[データベース]-「検索文字の ¥ をそのまま使う」チェックボックスを追加	. 20
メニューにないコマンド「ViewSplit」を追加	.21
[印刷]-[印刷実行]-[プレビュープロパティ]の追加	.21
「シェーブファイル」インポート時の UTF8 の変換追加	. 22

作図時のスナップ処理、対応オプションの追加	
[矩形ポリゴン指定による連続印刷]オプション追加	
計算フィールド 環境変数追加	
Proc 系コマンド追加	
インポート機能更新	
[プロジェクト間レイヤー比較]オプション追加	
[背景イメージ・統合広域イメージをポリゴンで連続切り出し]オプション追加	
「ルック&フィール」の設定 廃止モード追加	
[フィールド結合]オプション追加	
[フィールド照合・転記]オプション追加	
[明るさの均一化]処理方法改善	
[16 ビット階調 TIFF ファイルを 8 ビットカラーTIFF に変換]追加	
PC-MAPPING の起動オプションの追加	27
[アーク部分作図編集(スプライン)]追加	
ベクターデータと地理院地図等の 重ね合わせ表示変更	
[リレーション起動のオプション設定]設定追加	
[矩形ポリゴン指定による連続印刷]オプション追加	
[想定整形地の生成(一括処理)]コマンドパラメーター追加	
[座標データのベクター変換]Z値オプション追加	
[シェープファイルインポート] .zip ファイル指定	
アーク代表点 色・サイズ変更	
[アーク平滑化]コマンドパラメーター追加	
[位相一貫性のチェック]コマンドパラメーター追加	
[背景ピクチャー]パネル「キーリスト」ボタン追加	
[背景ピクチャー]パネル「キーリスト」追加	
コンパスバー表示	
コンパスバーのサイズ指定	
[3DビューⅡ 基本パラメーター設定]追加	
[結合ノードを跨ぐアークを検知、分割、ノード結合]追加	
[タイル形式画像背景表示設定]コマンドパラメーター追加	
[アーク・ノード構造検査] 属性の保持	
[文字列引き出し線アークの生成]オプション追加	
日付時刻関数の追加	
「文字列のキーリスト」追加	
[メッシュポリゴン、格子ポイント生成]オプション追加	
「クイックバーの設定」ダイアログ サイズ変更	
[集計・統計処理]オプション追加	
「文字ボックスフィールドの編集」オプション追加	
[特殊選択]オプション追加	
WebP へ対応	
[統合標高メッシュツール]の追加	

[アーク・ノードからポイント生成]コマンドパラメーター追加

[編集]-[編集]-[編集作図]-[アーク・ノードからポイント生成] コマンド: ArcToPnt にコマンドパラメーターを追加しました。詳細につきましては、 [編集]-[アーク・ノードからポイント生成]ダイアログボックスのヘルプをご確認ください。

[矩形ポリゴン指定による連続印刷]コマンドパラメーター追加

[印刷]-[印刷実行]-[矩形ポリゴン指定による連続印刷] コマンド: PrintByMesh にコマンドパラメーターを追加しました。

詳細につきましては、 [矩形ポリゴン指定による連続印刷]ダイアログボックスのヘルプをご確認ください。

URL 指定での標高タイルデータ(PNG)の取り込み

[編集]-[標高メッシュ][取り込み] に、

「URL 指定での標高タイルデータ(PNG)の取り込み」を追加しました。

指定した標高タイルデータの URL から、現在の表示領域に該当するデータ(PNG 形式)を取得し、標高メッシュプロジェクトに登録します。

瀺 ダウンロードするタイルのURLを指定	×
(例) https://XXXCOM/std/[z]/[x]/[y].png	 ✓ OK ▲ キャンセル
ズームレベル:	14

[レイヤー縮尺の変更]の追加

[プロジェクト]-[プロジェクト設定]へ[レイヤー縮尺の変更]を追加しました。 プロジェクトのレイヤーの一部、またはすべてを一括して、指定の縮尺に変更できます。

レイヤー縮尺設定				×
レイヤーの縮尺を設定します			V	ОК
1 / _2500			Q	キャンセル ヘルプ
同時に、同じ縮尺に設定する	5674-	すべて選択(A)	すべて非選択(U)	
□ 基盤地図情報 ● 1 道路中心線 ● 1 国調境界	₩ 45227 ₩ 36 ₩ 555 ₩ 40	146 📄 0 👫	0 🍻 0/0/0/ 0 🍻 0/0/0/	/0 🔤 0 /0 🔄 0
			_	

[Web メルカトル ダイル画像エクスホート]オフション追加	
[エクスポート]-[Web タイル]-[画像]	Webメルカトル タイル画像エクスポート ×
「Webメルカトルダイル画像エクスホート」へ、	保存先ルートフォルダー
解像度 を指定するオプション タイル画像サイズを指定するオプション 追加しました。 詳細につきましては、ヘルプをご確認ください。	すべてのN すべてOFF 2 3 4 5 6 7 8 9 10 想定解像度(DPI) 96 回 11 12 13 14 15 16 17 18 ダ(小画像サイズ (128~1024ビウビル)) 256 ✓ 19 20 21 22 23 24 25 26 画像を作成する領域 前景レイヤーの図郭範囲 矩形範囲を図上で指定する
	 ○ 前景レイヤーの選択ポリゴン矩形領域 ○ 空白の画像も生成する >> 透過色の指定 >> まいのて主成するシイル数 大さくすることで高速化が見込まれるが、十分なメモリが必要です 1 ー時ファイル生成用に使うフォルダー (十分な空き容量のあるドライブを指定) 空き容量確認 ご ✓ OK

[GPS ログから軌跡ベクター生成]オプション追加

[システム]-[GPS]-[GPS 軌跡]-[GPS ログから軌跡ベクター生成]からのリレーション起動等による動画再生に関して、「動画(高速)再生用動画ファイル」「静止して拡大するときの静止表示用動画ファイル」を二重持ちする機能を実装しました。

例えば、元の動画ファイル〇〇.mp4 に対してフレームレート等は元ファイルと同じで、画像サイズのみを縮小した〇〇s.mp4 があった場合、動画としての再生中は縮小版を使って再生し、ストップした時点で、オリジナルの動画ファイルから、同じ位置/時間の画像を用いて拡大等を行います。

また、[GPS ログファイルからベクターデータ生成]ダイアログにおいて、 <u>FFmpeg</u> がインストールされている場合(*)は 「(高速描画用)低解像度ビデオの生成」ボタンが追加され、縮小動画を生成できます。

(*)FFmpeg のインストールに関しては、 FFmpeg 6 のインストール クリエイティブコモンズ BY NC SA などをご参照ください。

[作図]-[長方形ポリゴン追加]追加

[作図]-[アーク・ノード]-[アーク追加]へ[長方形ポリゴン 追加]を追加しました。 長方形作図とポリゴン追加(生成)を一括して行います。

🏭 プロジェクト-2 ×
0 5 10 km

[編集]-[編集]-[正規化]-[ベクターデータの合わせ込み変換 2]オプション追加

[編集]-[編集]-[正規化]-[ベクターデータの合わせ込み 変換 2]へ

「選択されない接続アークを持つノードは変換(移動)しない」 「選択ノードは変換(移動)しない」 オプションを追加しました。

ベクター(レイヤー)データ(の合わせ込み2										×
前景レイヤーのアークの始 指定の背景レイヤーの位		1	ОК								
🗌 選択されたアークのる		1 ‡	ヤンセ	ル							
補正(正規化)手法	アフィン変換							~	0	ヘルブ	<u>`</u>
処理する背景レイヤー				すべ	て選択	(A)	すべて	「非選	択(U)		
田田田 老人ホーム 日 山 山 山 田 山 山 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	AU 0 AU 453 AU 55	227 13 5 13	0 36146 409		0 0 148	2007 2007 2007 2007 2007 2007	6 0 0	وي وي وي	0/0/0/0 0/0/0/0 0/0/0/0	塔 塔	0 0 0
				-			-	-			
□変換前のレイヤーを	残す(「変掛	№前」フォル	ダー)								
✓ 背景レイヤーの選択	要素(アーク、	ポイント)	を変換対	象とす	13						
□ 選択されない接続アークを持つノードは変換(移動)しない											
□ 選択ノードは変換)した (移動)した	r11									

[地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像背景表示設定]タイルデータのサイズ

[地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像背景表示設定]での描画(表示)につきまして、 個別のタイル画像のサイズが、256×256ピクセル以外の場合にも対応いたしました。

タイル画像URL指	定												×
登録されたURI	L												追加
表示	URL					拡張子	ズーム	表示限	ブレンド	透過度	透過色		削除
													上へ 下へ
ペースURL もしく	はローカル	/フォルダー 14.1 の TK+1	L.							地理	^里 院地図等	ラスタータイ	イル一覧
http://xxxx.com http://xxxx.com	Vstd/[z]/[x Vstd/ (7	4/151.png の形式) (ームレベル記載)	の、 フォルダの1	つ上)まで	を指定					KML	ドットワークリ	ンクファイルを	を読み込み…
https://cyberj	apandata	.gsi.go.jp/xyz/	/pale/{z)	/{x}/{y}.	png								۵
タイル名(任意) 淡色地図		ズームレベル	5	~	18	表示限 ズームし	界 パル	5 ~	18	拡張子	PNG	~	軍新
1/ U-810		アルファブレン	۴		~	透過度	透過なし	~	□透過	色		-	~
キャッシュク	クリアー						1	ンポート・エ	クスポート		1 (ОК	へ キャンセル

[ポリゴン 3D ビュー設定]オプション追加

[編集]-[編集]-[レイヤー]-[ポリゴン 3D ビュー設定]-[ポリゴン 3D ビュー設定]ダイアログボックスへ [標高メッシュに添わせる(貼り付ける)【3DView I】]チェックボックスを追加しました。

10000000000000000000000000000000000000		•	1 ++>T
□ ポリゴンの側面、天板部分を描述	画する		
高さ(単位m)の相当するフィールド			
地面(単位m)の相当するフィールド	フィールドなし		
□側面、天板の輪郭アークも招	苗画する		
表示点群の高さでかさ上げ処理	規定値(最低値でかさ上げ)	~	
□ 標高メッシュに沿わせる (貼り付	ける)【3DView II】		

[同一属性要素群重心ポイント生成]追加

[編集]-[編集]-[編集作図]へ

[同一属性要素群重心ポイント生成]を追加いたしました。 前景レイヤー内、指定した内部属性フィールドのデータが一致する、 アークの代表点、ノード、ポリゴン代表点、ポイント群の重み付き重心位置に新規ポイントを生成します。

[ベクトルタイルインポート]ダイアログボックス オプション追加

[地理院地図]-[現在の表示領域のベクトルタイルデータを取得]-[道路中心線]-[汎用(一般)]

[ベクトルタイルインポート]ダイアログボックスへ、

「リクエストヘッダー追加情報」を追加いたしました。

認証キーなどを指定するリクエストヘッダーを指定して、ベクトルタイルを取得できます。

ベクトルタイルインポート	×
●ペースURL URL形式を記述してください 例)http://XXX.COM/std/[z]/[y]/[y].geojson	国土地理院提供参照一覧 >>
https://maps.gsi.go.jp/xyz/tenkei_umi/{z}/{x}/{y}.geojson	
リクエストヘッダー追加情報(あれば)	
○ (ローカル) ルートフォルダー	
インボートするズームレベルの選択 2 ジ データタイプ GeoJSON	~
ペクトルタイルを取り込む領域	
 ● 全レイヤーの図郭範囲 ○ 前景レイヤーの図郭範囲 ○ 現在の 	D表示領域
□ 広域ベクターとして登録する 広域ベクターファイル保存先フォルダーを指定	
□ インポートスキーマを使用する	
√ ОК	↑ キャンセル Ø ヘルプ(H)

[広域ベクター]パネルへ「削除」ボタンを追加

[プロジェクトエキスパート]-[広域ベクター]パネルへ 「削除」ボタンを追加しました。ボタンから現在のスロットが削除できます。 また、新規プロジェクト生成時のデフォルトのスロット数を 32 から 4 としました。

	10%	街区 [1]					~ スロット特	± >>	新規ス	ロット > >	
r 1_0_	レイヤー検索(-						~ >	21	1 3 🧯	- NA
^-/-	ayer	Arc	Node	Pol	Pnt	Path			-1	G 🖌	
4	人街区	282	21 🕻 2256	8 🔒 1548	2 🚱 0	- 🔄 C:¥総合	ゔデモ¥NAV¥街区.r	av			て解
タベース											49 (L
-9							PC-Mapping/	HTx64			T
9-							A 187		+ shink		<u>(</u>
<i>∓</i> ν-							10 St	しいですか	·行的时。 • ?	しまり、	
Уı											8
											10
セイブ							Lav.	(Y)	00	•X.(N)	Ŧ
け							-				1
ジェクト											
									-	縮尺表示	長制:
♥►										図	邓枠:
										レイヤーデ	-91
パティ	🖁 表示·非	表示(D)	すべて表示	·非表示	DL17-	毎の描画	💕 レイヤーエキ	スパート(L)	>>		
										_	
※理 ※理	7992382 1	28 0	使用中	クリアー		🕹 制御ファイル	レ保存(S) 📄 🏦	御ファイル	レ読込(L	.)	

[作図]-[多角形アーク]オプション追加

[ホーム]-[作図]-[アーク追加]-[多角形アーク]について、 ALT キー+クリックでの直角補正を、最後の多角形を閉じるところまで対応しました。 この場合始点に合わせて補正されます。

[文字列マスクポリゴンの生成]オプション追加

[編集]-[編集]-[編集作図]-[文字列マスクポリゴンの生成]ダイアログボックスにおいて、以下オプションを追加しました。

(マスクでなく)アンダーラインのアークを生成する (元 ID でなく)元の全属性を転記する

文字列マスクポリゴンの生成	×
マスク生成対象となる文字列をもつ要素	🖌 ОК
□ アーク(A) □ ノード(N) ✓ ポリゴン(P) ✓ ポイント(T)	へ キャンセル
□ 選択要素のみを対象(S)	⊘ ヘルプ
マスクポリゴンを生成するレイヤー(L)	
□ 【NEW】レイヤーを新規に作成	•
✓ (マスクでなく) アンダーラインのアークを生成する	
□ (5%のマージンでなく)追加する余白を指定する 0.2 (mm)	
□ 指定の文字位置にポイントを生成する 左上 ~	
□ (文字列でなく) 1文字ずつのマスクを生成する	
✓ (元IDでなく) 元の全属性を転記する	
同時に処理する背景レイヤー すべて選択(A)	すべて非選択(U)
田田 基盤地図情報 日本 1	0 \$\$ \$ 0/0/0/0 0 \$\$ \$ 0/0/0/0

[アークの表示文字列をアーク長に合わせた注記ポイントを生成]追加

[編集]-[編集]-[編集作図]-[アークの表示文字列をアーク長に合わせた注記ポイントを生成]を追加しました。 アークの表示文字列から、アーク長に一致するようにフォントサイズを調整した注記ポイントのレイヤーを生成します。

	\times
あああ	
0 1 2 3 4 5 km	

広域ベクターをキャッシュとして利用するベクトルタイルデータの自動ローディング機能

[プロジェクトエキスパート]-[広域ベクター]パネル【スロット特性】ボタン [広域ベクタースロット特性]ダイアログボックスに「ベクトルタイルデータを利用する」チェックを追加しました。 これが ON の場合、

【ベクトルタイルデータ登録>>】ボタンで開く、[ベクトルタイルを広域ベクターに登録]ダイアログで、 ベクトルタイルの諸元をセットすることで、表示画面に対応するタイルをダウンロードし、 PC-MAPPING のレイヤーデータ(nav)に変換して、広域ベクターとして表示、照会できます。

広域ベクタースロット特性	×	ベクトルタイルを広域ベクターに登録	×
タイトル(T) 街区	🖌 ОК	ペースURL URL形式を記述して公さい 例 http://XXXXXXX/d/d//d/d/geojson 国土地理院提供参照一覧 >>	🖌 ОК
□ 同一タイトルのレイヤーがあれば、その設定に追従する(S)	 	リクエストヘッダー追加情報(あれば)	 キャンセル
□ スロットやレイヤーの縮尺制御より優先する □ 全レイヤーを非表示にする □ 縮尺表示制御のオーパーライト 縮尺が 1 / 50000 以上	ータを利用する レデータ登録 >>	ズームレベル 0 ~ 0 データタイプ GeoJSON タイル名(任意) 1回の措画時に要求する最大タイル数 100 イヤッシュファイルフォルダー ファイルキャッシュを使用しない	(H)/(J(F)
1/ 以下で表示 属性服会対象外 属性振会対象外 属性表示位置の再配置をしない マシ羽筋へ表示の抑制(筋分的にしか表示されない文字系	山を非表示にする)	□ インポートスキーマを使用する	
このスロットの「順位付け重み」描画優先順位を決定します	0 ×		
ペクターファイル(NAV)をリフレッシュする 以前の)パーションで保存されたNAVファイルや、編集・更新されたペク ターファイルを、広場ペウター用にリフレッシュします	実行(G) >>		
統合広域ベ	クターの生成 >>		

プロジェクトキーリスト・コマンド定義追加

プロジェクトのキーリストに #COMMAND:(コマンド名) の登録があれば、(コマンド名)に対応して、キーリストの値がコマンド文字列として実行されます。 このコマンド定義方法で、プロジェクトに応じてその特性にあったコマンドを定義することができます。

[UAV コース調整・出力]オプション追加

[ツール]-[UAV コース設計]-[オプション]-[UAV 飛行計画コース 調整・出力] [UAV コース調整・出力]ダイアログボックスへ、 「元の補間点を保持する」チェックを追加しまし た。

UAVJ-ス調整・出力	×
□ 飛行高度を調整する 60 ■ m □ (絶対高度ではなく)地表面からの比高	 ✓ ОК
出発地点の標高(この値からのオフセット値が高度として出力されます) 0 🗐 m	•• ++>27
□指定間隔(以内)毎にウェイポイントを配置する 50 🗐 m	
□-2平滑化、撮影高度変化分しさい値 2.5 画 m ■ 元の補間点を保持する	
出力パス (連結コース単位に –1 –2 自動射番 」高さオフセット)	
✓ (KMLファイルの場合)連結アーク(コース)は1つの要素として出力する	
Z値 出発地点からの相対値(Kml研	そうけい くうしょう そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうしん そうし
コースフットプリント生成なし	
力均規野角	
横方向 70 🖺 度	
レーザスキャナー諸元	
有防視野角 100 國 度 最長測定距離 1000 m m	

計算フィールド関数追加

[属性フィールドの設定]ダイアログボックスへ、計算フィールドの関数として DateFromString(日付文字列,0)を追加しました。 文字列としての日付から、日付時刻型フィールドの内部表現データを取得します。

第1引数では、日付の文字列もしくはそのフィールドを指定します。
第2引数は
1:時刻セパレーターは 2:時刻セパレーターは .
0:時刻セパレーターは :
16:日付セパレーターは .
32:日付セパレーターは .
0:日付セパレーターは /

通常は「0」を指定します。





コマンド「VideoPlay2」で開かれたウィンドウでの「10 秒進める」「10 秒戻す」ボタン機能に関して、 pcm.ini で [VideoPlayDlg] StepSec=10 の指定で、任意秒数を指定できます。

[インポート]-[GeoCSV]追加

[インポート]-[GEOCSV]追加

[インポート]-[汎用/GIS]へ[GeoCSV]を追加しました。 GeoCSV 形式のファイル(CSV / CSVT / PRJ)をインポートできます。 ■<u>GeoCSV</u>

[エクスポート]-[汎用]へ[GeoCSV]を追加しました。 ベクターデータを GeoCSV 形式のファイル(CSV / CSVT / PRJ)にエクスポートします。 ■<u>GeoCSV</u>

「AttrSrchAll」コマンドオプション追加

全データ検索(ベクタープロジェクト)でのコマンド「AttrSrchAll」に、新型のコマンドオプションを追加しました。 以下は従来のコマンドオプションと異なり、メインウィンドウと共存するモードレスダイアログとなります。

-Proc∆n

1:クリップボードへコピー 2:選択要素リストを「選択状態」へ 3:全てのリスト要素を「選択状態」へ を追加しました。 (-Go/-GoAndClose と合わせて使用できます) ※△は空白

また、

-GoAndClose オプションを追加しました。 こちらの指定で、「検索を実行してダイアログを閉じる」動きになります。 (-Proc と合わせて使用します)

[GeoTiff から MBTiles ファイルの生成]追加

[システム]-[画像]へ、[GeoTiff から MBTiles ファイルの生成]を追加しました。

このコマンドを実行するには、GDAL(Geospatial Data Abstraction Library)がインストールされていることが必要です。

インストールの詳細につきましては、以下の記事をご参照ください。 ■MAPCOM WORLD TOPICS

ベクトルタイルの利点とは?

「PC-MAPPING でのバイナリーベクトル表示方法」-「事前準備」

GetTiffファイルからMbTilesファイル生成	×
元画像ファイルパス名	
変換後出力ファイルパス名	
ズ−ムレベル 9 ✓ ✓ 下位のズ−ムレベルも同時に生成する	
	 ✓ OK ↓ キャンセル

[JPEG ファイル(属性フィールド)への位置座標付与]オプション追加

[ツール]-[画像ファイル]-[座標付与]-[JPEG ファイル(属性フィールド)への位置座標付与]において、 属性フィールドに「方向」フィールドがある場合、それを基に、EXIF の撮影方向にも反映されるようにしました。 また、「GPS 情報付き EXIF-JPEG ファイルの取り込み」の際にも、撮影方向が復元されます。

[構成メッシュの結合]ダイアログボックスオプション追加

[標高]-[編集]-[構成メッシュの結合]ダイアログボックスへ、
「現在の結合されたメッシュを解除する」
「現在の結合されたメッシュ以外を抹消する」オプションを追加しました。

構成メツンユの結合					X
ベクターとのオーバーレイ・ シュを結合して1メッシュ(や可視、不可ネ Dプロジェクトを	視マップを1 :作成しま	作成するにあたっては、標高メッ す	1/	
対象標高メッシュ	[1] 地理院	タイル_z1	3 ~		
結合する際の、解像度を	指定します				(1))
◎ 高解像度(登録	メッシュの最高	「解像度))		
○ 中解像度○ 低解像度			□ 結合後、他の標高メッシュを抹消する		
○指定の解像度	15.9	(m)			
実行するにはおよそ	15	MBのメ	モリを必要とします		
 ○ 現在の結合された。 ○ 現在の結合された。 	メッシュを解除 メッシュ以外を	≹する を抹消する	結合前のメッシュが残存している必要があります。 3		

[エクスポート]-[GeoPackage(GPKG)ファイル]追加

[エクスポート]-[汎用]-[GeoPackage(GPKG)ファイル]を追加しました。 GeoPakage(GPKG)形式のファイルにエクスポートできます。 ■<u>GeoPackage</u>

このメニューを実行するには、GDAL(Geospatial Data Abstraction Library)のインストールが必要です。 GDAL のインストールについては以下をご参照ください。 ■MAPCOM WORLD TOPICS <u>ベクトルタイルの利点とは?</u>

起動オプション追加

PC-MAPPING の起動オプションを追加しました。

[書式] -FastBootムpara ※△は半角スペース para には、以下の文字の任意の組み合わせ文字列を指定します。

使用例:-FastBoot△HVQPR

H: HTML バー、HTML メニューバー を生成しない
V: BingMap バー を生成しない
C: 地理院地図バー を生成しない
T: タスクメニューバー を生成しない
Q: クイックバー を生成しない
J: タスクバージャンプリスト を生成しない
P: (使用可能な)プリンターリスト を生成しない
R: リボンバー を生成しない

生成処理を省略することで、PC-MAPPINGの起動時間を短縮できます。 ただし、起動後の追加生成や表示が行えないため、再表示するには、PC-MAPPINGの再起動が必要です。

起動オプションについての詳細は以下をご参照ください。 ■ヒント集 起動オプション一覧 [概要]

[編集]-[文字列編集]メニューの追加

[編集]-[編集]-[文字列編集]メニューを追加し、 従来「編集作図」メニューにあった以下のものを移動しました。

- 文字列フォントベクター生成
- 文字列マスクポリゴンの生成
- 文字列引き出し線アークの生成
- 文字列引き出し先ポイントの生成
- 文字ボックス引き出し線の調整
- 文字列ポイント整列位置調整
- アーク文字列から注記ポイント生成

	文字	列編集 💦 🗡	ユーイノ肝际	ユニイノ进バ
ſ	A	文字列フォント/	ベクター生成	
	AB	文字列マスクポ	リゴンの生成	
	A	文字列引き出し	」線アークの生成	
┥	<u>,</u> a	文字列引き出し	っ先ポイントの生成.	
	A ko-	文字ボックス引	き出し線の調整…	
	×8	文字列ポイント	整列位置調整	
l	<u>مج</u>	アーク文字列か	ら注記ポイント生成	L.
	8 8 8	ポイントデータを	表示属性フィールド	毎に分解

[ポイントの表示文字列毎にポイントレイヤーを生成]追加

[編集]-[編集]-[文字列編集]へ、

[ポイントの表示文字列毎にポイントレイヤーを生成]を追加しました。

ポイントの表示文字列ごとに、注記ポイントのレイヤーを生成します。また、属性フィールドは元のレイヤーにある全ての フィールドが転記され、表示設定状態のみが、レイヤーに合わせて調整されます。

ポイントデータを表示属性フィールド毎に分解	×
分解対象とするフィールド	🖌 ОК
[2] AAAA [3] BBBB	
 □ 選択ポイントのみを対象とする ✓ ポイント位置は動かさない(属性表示のみを分解する) 	

[集計・統計処理]・[クロス集計]表示の変更

[データベース]-[編集]-[演算・集計]-[集計・統計処理]

[データベース]-[編集]-[演算・集計]-[クロス集計]

列挙型フィールドに関して、結果のデータベース上での表示を、キー値ではなく、文字列に変更しました。

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]へ画面抑制追加

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]パネルへ、@SuspendSizeChange を登録することで、そのプロジェクトを開い た際に、ウィンドウサイズの変更などを抑制する機能を追加しました。



14

10 kr

PC-MAPPING内の ウィンドウコントロールが

抑制されます

@SuspendSizeChange

PC-Mapping Ver 8.049 BN.651974

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト] ヘメイン画面抑制追加

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]パネルへ、@SuspendSizeChangeMain を登録することで、 そのプロジェクトを開いた際の、メインフレームウィンドウサイズの変更などを抑制する機能を追加した。 キーリストの登録方法は、上記の @SuspendSizeChange と同様です。



[PVP 設定]-「保存完了後、ZIP ファイルに集約する]追加

[プレゼンテーションビューアーパックの設定]ダイアログボックスへ、「保存完了後、ZIP ファイルに集約する」チェックボックスを追加しました。ON の場合、PVP ファイル群を ZIP ファイルに集約し、作成した ZIP ファイルをエクスプローラー上で 展開します。

プレゼンテーションビューアーパックの設定				×
保存先(S) 🛛 🔽 保存完了	″後、起動テストを実行する	🗌 保存完了後、ZIPフ	アイルに集約する	
 □ タイトルをカスタマイズする(T) □ パスワードをつける(P) □ 使用期限をつける(L) 	2024/09/01 *		√ ∩ ❷	OK キャンセル ヘルプ
☑ ユーザーメニューを転記する(U)	 リボンをカスタマイズす メニューをカスタマイズす 	3(M)	設定 (C) >> 設定 >>	
✓ クイックバーを転記する(Q) (転	記されるのは第1クイックバーのみ	です)		
✓ 拡張機能を付与する(X)				
✓ タスクメニューバーを転記する(B)				
作成者(署名)				
起動マシン限定				•
Ver 8.038 より構成変更あり、 実行	テプログラム(.exe)とデータファイ	´ル(.pvp)に分離されて出	力されます	
ユーザーメニュー、クイックバーで使え また、スクリプト、HTMLメニューなど	る機能はプレゼンテーションビニ 。は使用できません	ューアーに本来ある機能(:	メニュー)に限定る	5れます。

[プロジェクト間レイヤー比較]追加

[ツール]-[領域検索]-[比較・抽出]-[プロジェクト間レイヤー比較]を追加しました。

現在アクティブなプロジェクトと、他のプロジェクト間で同一タイトルのレイヤーを比較して、一致するものがない要素を選 択状態にします。

該当レイヤーは、「メッセージ」ウィンドウに表示されます。	
プロジェクト間 レイヤー比較・変化分抽出	×
指定のプロジェクトとタイトルが一致するレイヤー間で比較し、一致するものがない 要素を選択状態にします 対象プロジェクト(T) プロジェクト-8 ~	 ✓ OK ↑ キャンセル ② ヘルプ
比較要素 ジ アーク(A) ノード(N) プ ポリゴン(P) プ ポイント(T)	
オプション オプション 選択要素のみを比較の対象とする 属性も比較対照とする 同時に、対象、参照レイヤーを入れ アークの方向は無視する 閉じたアークとポリゴン座標列の「位 	替えて実行する 相」は無視する

[標高]-[編集]-[構成メッシュの結合]機能追加



[標高]-[編集]-[構成メッシュの結合]

[編集]-[標高メッシュ]-[編集]-[構成メッシュの結合]に関して、結合されたメッシュと元のメッシュデータ両方が存在する場合は、標高メッシュ構成のリストに、【結合】(元のメッシュ名)として表記されます。

※標高メッシュ構成のリストは、

[プロジェクトエキスパート]-[標高メッシュ]パネルより【ウィンドウ表示】を行い、その後[標高]-[設定]-[標高メッシュプロ ジェクトの設定]より確認いただけます。 [ツール]-[表示領域]-「図郭コード(2)」(図郭コード等算出(コンパクト表示))を追加しました。 現在表示されている領域のメッシュコードと、各縮尺の DM 図郭コードのリストをコンパクトなダイアログで表示します。



[GPS ログファイル(複数可)と対応する動画ファイルとのリンク]を追加

[システム]-[GPS]-[GPS ログファイル(複数可)と対応する動画ファイルとのリンク]を追加しました。 GPS ログファイル(※複数可)と対応する動画ファイルをリンクした、プロジェクト・レイヤーを新規作成し、ベクターデータ (アーク・ポイント)を生成します。生成したベクターレイヤーのポイント属性照会から【リレーション】ボタンで動画再生が可 能です。

また、以下のオプションを追加しました。

- ExifTool がインストールされている場合、GPS 情報付き動画ファイルから GPX ファイルを抽出する
- ffmpeg がインストールされている場合、実行時に高速に動画再生するための解像度調整動画ファイルの生成
- 登録された複数動画ファイルを1つのファイルに結合する

詳細につきましては、[GPS ログとビデオファイルとのリンクデータ生成]ダイアログボックス内のヘルプをご参照ください。

		🔁 追加
		MP4変換して 追加
		🖬 解除
		📓 すべて解
		↑ 上へ
		🗜 下^
登録されたビデオファイルの拡張子を gox とした GPSログ情報があると想定して	います	
ビデオファイルからGPS情報 (GPX) 抽出(存在している場合)	ビデオファイルを結合して1つのファイルに出力する	
ビデオファイルの更新日時を(GPS軌跡上の)スタート時間とする 更新日時はUTCとして+9時間のオフセットを加える	□(高速描画用) 低解像度ビデオを生成する	

[同一属性要素間アーク作図]コマンドオプション追加

[編集]-[編集]-[編集作図]-[同一属性要素間アーク作図]

コマンド AttrArcDraw にコマンドオプションを追加しました。

詳細につきましては、[同一属性要素間アーク作図]ダイアログボックス内ヘルプをご確認ください。

[TIN、標高メッシュからの Z 値付与]コマンドオプション追加

[編集]-[編集]-[Z 値]-[TIN、標高メッシュからの Z 値付与]

コマンド ZFromTin2 のコマンドパラメーターを整理し追加しました。

詳細につきましては、[TIN レイヤーから Z 値付与]ダイアログボックス内ヘルプをご参照ください。

[選択状態転記(レイヤー内)]へ転記方法の追加

[選択]-[転記]-[選択状態転記(レイヤー内)]の転記方法へ、「ポリゴンから構成アーク(中抜け側アークも含める)」を追加しました。

※従来メニューの「ポリゴンから構成アーク」では、中抜け側アークへは転記されません。

選択状態転記(レイヤー内)			×
レイヤー(L)			
TRK	-	1	ОК
転記方法(P)		J	キャンセル
ポリゴンから構成アーク(中抜け側アークも含める)	\sim	?	ヘルプ(H)
しきい値 紙面上換算(mm) 0.1			
✓「選択されている」状態のみ追加して転記 このチェックがOFFのときは、「選択されている状態」「選択されていない状態」ともに転記されます			

[プロジェクト間接合チェック]-「Z 値比較」追加

[ツール]-[領域検索]-[比較・抽出]-[プロジェクト間接合 チェック]へ、「Z 値も比較の対象とする」オプションを追加 しました。

プロジェクト間接合検査		×
/ S Z / MACINE		~
対象プロジェクト		
プロジェクト-3		~
しざい値等		
☑ 連続性(端点チェック) 0.000 (m)		
☑ 連続性(接続不良) 1 (m)		
☑ 図郭付近のデータのみを対象とする		
□ メッシュ境界付近のデータのみを対象とする	メッシュのピッチ 0.00833333333333333	33 🔳
✓ Z値も比較の対象とする		
同時に、処理するレイヤー	すべて選択(A) すべて非選択	択(U)
	🗱 4 🍪 0/0/0/0 🚟 0 x 0 💌	iji
	✓ OK 1 +†:	ンセル

[アーク属性照会]ダイアログ-[座標リスト]ウィンドウへ表示の追加

[属性]-[照会]-[アーク属性照会]ダイアログ-【座標リスト】ボタン-[座標リスト]ウィンドウへ、アークの座標列に区間距 離・累積距離を追加しました。

また、有効なZ値がある場合、区間(アークセグメント)毎の傾斜(%)も表記します。



「360 度のパノラマ写真 JPEG ファイル」の GPANO タグに関しての追加

360 度のパノラマ写真 JPEG ファイルに格納される GPANO タグ ※の情報に関しまして、 ExlfTool がインストール済みであり、なおかつ Pcm.ini ファイルで、以下の設定がされている場合、 [SystemEnvMgr] JpegInfoEx=1 読み込み時に GPANO タグ情報をキーリストに格納し、保存する際はキーリストにある GPANO 情報が復元されます。

※ Projection Type Use Panorama Viewer Cropped Area Image Width Pixels Cropped Area Image Height Pixels など

[属性データ表示制御]ダイアログボックス-「保存・読込み」の追加

[属性データベース設定]-[データベースの設定]パネル-【表示制御】ボタン [レイヤーエキスパート]-[ベクター]パネル-【表示制御】ボタン [属性データ表示制御]ダイアログボックスへ、「保存・読込み」ボタンを追加しました。

「現在の設定をファイルに保存」、「ファイルから現在の設定に読み込み」を選択することで、現在の表示制御の設定情報を、指定のファイル(XML 形式)に保存できます。

また、保存したファイルから、読み込んで復元も行えます。



[データベース]-「検索文字の ¥ をそのまま使う」チェックボックスを追加

[データベース]-[編集]-[検索・置換]-[セルの検索]

[データベース]-[編集]-[検索・置換]-[フィールド検索]

[データベース]-[編集]-[検索・置換]-[セルの置換]

[データベース]-[編集]-[検索・置換]-[フィールド置換]へ、

「検索文字の ¥ をそのまま使う」チェックボックスを追加しました。

このチェックボックスを ON にすることで、通常改行コードとして認識している、「¥n」のような文字列を検索することができます。

文字列の置換		×
検索する文字列(F)	æ	次を検索(F)
1 ~		置換して次を検索(R)
置換する文字列(P)		すべて置換(A)
<u>さくら1丁目</u> ~	Ĵ	閉じる(C)
□英文の大文字小文字を区別する(C)	対象範囲	Đ
□検索文字の ¥ をそのまま使う	● 全 ○ 選	体(D) 択範囲のみ(S)
		»(+omovov(0)

メニューにないコマンド「ViewSplit」を追加

メニューにないコマンド ViewSplit を追加しました。 ベクターウィンドウを分割・解除できます。

ViewSplit△-Row△(*分割位置)…縦方向に分割する
 ViewSplit△-Col△ (*分割位置)…横方向に分割する
 ViewSplit△-Row△(*分割位置)△-Col (*分割位置)…縦横方向に4分割する
 (*分割位置)…ウィンドウ全体に対する相対位置を0.1 ~ 0.9 の範囲 で入力します
 ViewSplit -Off …分割状態を解除する

例: ViewSplit△-Row△0.5 ベクターウィンドウを縦方向半分に分割する
 ※△は空白



[印刷]-[印刷実行]-[プレビュープロパティ]の追加

[印刷]-[印刷実行]-[プレビュープロパティ]を追加しました。 印刷プレビューとして開くウィンドウのタイプやイメージの解像 度を指定できます。

また、この設定は pcm.ini ファイルに保存され、起動環境として次回以降も適用されます。

印刷プレビューのプロパティ	×
プレビューウィンドウ	🖌 ОК
○ 旧型の印刷プレビュー 【非推奨】	1 +ャンセル
● 拡張イメージウィンドウを使ったプレビユー	🕜 ヘルプ
○ (新型)の統合プレビューウィンドウ 【推奨】	プレビュー実行
プレビュー時の解像度	
○ 画面解像度(プリンターと画面解像度の比で イメージサイズを決定する)	
● (最大) イメージサイズを指定する	
横 2400 🗐 縦 2400 🗐 (ピクセル)	

「シェープファイル」インポート時の UTF8 の変換追加

[インポート]-[汎用/GIS]-[シェープ]-[ArcView シェープファイル]

シェープファイルのインポートにおいて、以下の場合、属性ファイル(*.dbf)の内容を自動判別し、必要に応じて UTF8 からの変換処理を行うようにしました。

- オプションの「UTF8」が OFF であり、*.cpg ファイルが存在しない場合
- 国土数値地図のインポートのように、「UTF8」オプションの設定がなく、*.cpg ファイルが存在しない場合

この自動判定処理は、pcm.iniファイルにおいて、 [ShpImport2] UTF8Auto=0 を設定することで、無効にできます。

作図時のスナップ処理、対応オプションの追加

[作図]-[作図補助]-[スナップ設定]作図時のスナップ処理において、[プロジェクトエキスパート]-[表示モード]パネルで 「異なる座標系レイヤーの合わせこみ表示」が ON の場合は、異なる座標系のレイヤーに対してもスナップ処理が行われ るようにしました。



[矩形ポリゴン指定による連続印刷]オプション追加

[印刷]-[印刷実行]-[矩形ポリゴン指定による連続印刷]-「ポリゴン領域外を塗りつぶす」オプションにつきまして、[マージン部分も塗りつぶす]チェックボックスを追加しました。

また、塗りつぶしにおいて他のブラシスタイルも指定できるようにしました。

ポリゴン指定による連続印刷		\times	ポリゴンブラシスタイル	×
参照する矩形ポリゴンレイヤー		● 閉じる	All with	🖌 ок
■ レイヤー130	•			
🔤 選択ポリゴンのみ印刷 🛛 🔽 ユニオン(あれば)単位で		中 年行	バターン(ビットマップ)	- + + > c/v
使用する印刷設定 設定 >>			上向きハッチ	
現在の印刷設定	~	JUCI-	十字ハッチ	色(C)
□ 整飾プロジェクトの差込DBをこのポリゴンの内部属性DBと置き換える	矩形ポリゴンサイズ等から印刷方	向自動調整 ~	クロスハッチ	
✓ (毎形でなく) 任章のポリゴン領域を印刷する			下向きハッチ	透過あり ~
■ ペレガン領域を切り出して印刷 ポリゴン領域外を塗りつぶす	スタイル(S) ソリッド	~	水平ハッチ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
□ 該当ポリゴンを選択状態にする	色(C)	-	垂直ハッチ	
	透過度(%)	14 🔳	ホロウ(中空)	
● 印刷設定での相代で印刷する			ベクターシンボル	
○ ポリゴン属性で縮尺を個別指定	~		拡張ハッチ(水平)	
			拡張ハッチ (垂直)	
□ 印刷枠に合わせて縦横比を調整する				
□(可能であれば) 複数ページまとめて1ファイルにスフールする				
ファイル出力時のファイル名を内部属性の指定フィールドから設定する			拡張ハッテ(下向さ)	
プリンタ出力時は"スプール名"として使用されます	町・喇順(発順)を決める 数値属性フィールド		拡張ハッチ(十字)	
使用しない(印刷設定に連番を付加)	✓ 使用しない	~	拡張ハッチ(クロス)	
(印刷するのでけたく)プロジェクトとして保存 もとの実座標	を保持する		拡張ハッチ(5%)	
	C 14/1/ 7 0		拡張ハッチ(10%)	
			拡張ハッチ(20%)	

計算フィールド 環境変数追加

[属性フィールドの設定]ダイアログボックス -「計算フィールド」に以下の環境変数を追加しました。

\$SelRecNum : 選択レコード数
\$SelRecIndex: 選択レコードの中でのインデックス

Proc 系コマンド追加

[メニューにないコマンド]-[Proc 系コマンド] 「ProcムLayer」に、フィールドの追加・削除機能・一部設定機能を追加しました。

詳細につきましては、PC-MAPPING ヘルプ-[メニューにないコマンド]-[Proc 系コマンド] 「Proc Layer」を参照してください。

インポート機能更新

[インポート]-[国土地理院]-[数値地図(画像)]へ、[電子地形図 50000 PDF 形式]を追加しました。 電子地形図 50000 PDF 形式をインポートし、画像データを広域イメージに登録したプロジェクトを生成します。

[プロジェクト間レイヤー比較]オプション追加

[ツール]-[領域検索]-[比較・抽出]-[プロジェクト間レイ ヤー比較]において、「アークをセグメント単位に比較す る」チェックを追加しました。 これが ON の場合、アークは座標列としてではなく、アーク の補間点毎に、同一座標点があるかを検索します。

また、差分として、連続した不一致点はアークに、1 点のみの不一致はポイントとして、"@"+(元レイヤー名)+"_E"のレイヤーに転記されます。



[背景イメージ・統合広域イメージをポリゴンで連続切り出し]オプション追加

[編集]-[編集]-[背景イメージ]-[背景イメージ・統合広域イ メージをポリゴンで連続切り出し]へ、「長方形ポリゴンから 切り出す場合、回転パラメーターを使って切り出す」オプショ ンを追加しました。

オプションが有効で、長方形のポリゴンと判定した場合*は、 指定のポリゴンで切り出しを行います。 切り出した画像は回転していないため、座標情報として回

転パラメーターをセットします。

この場合、ポリゴンの第1点(始点)が画像の左上、第2点 が右上、第3点が右下、第4点が左下として処理されま す。

*長方形判断基準=補間点が始終点含めて5で、対辺の 長さが等しいかどうか



「ルック&フィール」の設定 廃止モード追加

[システム環境設定]-[ルックアンドフィール]パネル-「ルック& フィール」の設定に関して、表示非推奨の「WindowsXP」~ 「Carbon BLack」までを基本廃止としました。 一度でも、Office2010 以降のものを選択した場合、それ以前 のものは選択できなくなります。 加えて新たに Office2010 を非推奨扱いとしました。

非推奨とはなりますが、 pcm.ini ファイルにて、以下を追加することで廃止されたモード も再度選択可能となります。 [SystemEnvMgr] VisualMode=0



[フィールド結合]オプション追加

[データベース]-[編集]-[編集]-[フィールド結合]において、 「選択レコードのみを対象とする」チェックを、結合先・結合元の 両方に追加しました。

また、「キーの重複があっても強行する」オプションを追加しました。

フィールドの結合	×
結合キーとなるフィールド(K) 第1キー [2]小字 ~ 第2キー 使用しない ~ 第3キー 使用しない ~ 運 選択レコードのみを対象とする	 ✓ OK ▲ キャンセル ② ヘルプ(H)
結合するデータベース(T) 建物 アーク (○○市統合管理) ~ 結合キーとなるフィールド(L) 第1キー 第2キー 第3キー 使用しない ~ 第3キー 使用しない ~ 遭択レコードのみを対象とする つ カ、ケッなどの違いを無視する 第1キーを日付として解釈し、ちっとち近いものにマッチさせる マーク重複があっても強行する	
結合するフイ−ルド(F) □[1] code □ 同じ名前、同じ型のフィールドがある場合、追加せず上書きする	すべて選択(A) すべて非選択(R)

[フィールド照合・転記]オプション追加 [データベース]-[編集]-[編集]-[フィールド照合・転記]において、 フィールドの照合・転記 × 「選択レコードのみを対象とする」チェックを、「照合・転記先」、「照 キーとなるフィールド(K) V ОК 合・転記元」の両方に追加しました。 第1キー 第2キー [1]大字 ↑ +ャンセル 第2キー 第3キー --- 使用しない -- 使用しない ---⑦ ヘルプ(H) ☑ 選択レコードのみを対象とする 照合・転記するフィールド(F) すべて選択(A) [1]大字 [2] 小字 すべて非選択(R) [3] 地番 [4]所有者 □[5]耕作者 🔲 [6] 現況面積 [7]登記面積 [8] 現況地目 □[0]祭記#日 照合・参照されるデータベース(T) [1] 公共施設種別区分 キーとなるフィールド(L) 第1キー [1] CODE 第2キー 第2キー 第3キー --- 使用しない ------ 使用しない ---□ 選択レコードのみを対象とする □ カカ、ケヶなどの違いを無視する □ 照合するだけで、転記処理はしない □ 照合で不一致のレコードを選択状態にする

□ キーが不一致で照合・転記できないレコードを選択状態にする
 □ 参照されないレコードは新規のレコードとして転記する

[明るさの均一化]処理方法改善

[イメージ]-[変換]-[輝度調整]-[明るさの均一化]において、処理方法を改善しました。

[16 ビット階調 TIFF ファイルを 8 ビットカラーTIFF に変換]追加

[システム]-[画像]-[画像入力変換]へ、 [16 ビット階調 TIFF ファイルを 8 ビットカラーTIFF に変換]を追加しました。 複数の 16 ビット階調の TIFF ファイルを、8 ビットカラーに変換して保存できます。

PC-MAPPING の起動オプションの追加

PC-MAPPING の起動オプションを追加しました。

[書式] -FastBootムpara ※△は半角スペース para には、以下の文字の任意の組み合わせ文字列を指定します。

使用例:-FastBoot△HVQPR

H: HTML バー、HTML メニューバー を生成しない
V: BingMap バー を生成しない
C: 地理院地図バー を生成しない
T: タスクメニューバー を生成しない
Q: クイックバー を生成しない
J: タスクバージャンプリスト を生成しない
P: (使用可能な)プリンターリスト を生成しない
R: リボンバー を生成しない
W: WebView2 機構をロードしない を追加しました。
生成処理を省略することで、PC-MAPPING の起動時間を短縮できます。
ただし、起動後の追加生成や表示が行えないため、再表示するには、PC-MAPPING の再起動が必要です。

起動オプションについての詳細は以下をご参照ください。 ■ヒント集 起動オプション一覧 [概要]

[アーク部分作図編集(スプライン)]追加

[作図]-[アーク・ノード]-[アーク部分作図編集(スプライン)]を追加しました。 既存のアークにスプライン補間が行えます。



ベクターデータと地理院地図等の 重ね合わせ表示変更

ベクターデータと地理院地図等の重ね合わせに関して、表示の変更を行いました。

地理院地図は JGD2000/2011 相当の準拠楕円体での Web メルカトル図法で作成されているため、 従来、PC-MAPPING では、JGD2000 ではない座標系のベクターに対しては、地理院地図を表示しないようにしておりま した。

こちらは表示を行ってもズレてしまうためです。

今回の更新では、「表記上 JGD2000 ではないが、実データは JGD2000 になっている」といったデータの対応のため、 地理院地図の表示を行うように変更しました。

表示の際、データが直角座標の場合は、投影変換による合わせこみが必要となりますが、 JGD2000と日本測地系(TKY)は準拠楕円体が異なるため、投影変換後の位置は4m程度ズレて表示されます。 そのため、直角座標では日本測地系(TKY)と地理院地図等の重ね合わせは非表示としております。

重ね合わせた表示をする場合は、iniファイルに以下を追記することで、 強制的に、「前景レイヤーは JGD2000」と想定して 重ね合わせた描画が行えます。 [SystemEnvMgr] WebMercatorTileForceDraw=1



[リレーション起動のオプション設定]設定追加

[スタート]-[リレーション起動のオプション設定]に、 「1つのセル内に 空白、カンマ で区切られた複数のリンクパスの 記述を想定する」チェックを追加しました。

これが ON でリレーション起動を行う場合、フィールド内の文字列を 空白かカンマで区切り、リレーション起動を試みます。 なお、空白やカンマが含まれるパス名等は "〇〇" で括る必要が あります。

リレーション起動オプション設定						>
リレーション起動の原則				~	OK	
● 指定フィールド(あれば)、そのフィール	ドに限定する			n	キャンヤル	,
○ 全てのリレーション対象のフィールドに関し	て処理する					
☑ 1 つのセル内に 空白、カンマ で区均	のられた複数	のリンク	パスの記	述を想	想定する	
複数のリレーションフィールド、マルチリンクフィールト	*、BLOB型デ	一久				
○ (マルチリンクフィールド、BLOB型データ)	の場合)先望	頂データ	のみ対象	Ŕ		
○まとめて各リレーション文字列を結合して	1つのリレーシ	ョンとし	て起動			
○ 選択ダイアログを出してから起動						
○ 選択ダイアログを出さずに起動	最大起動数	8	•			
その他(ExMode)						
 指定なし 						
○ デフォルトを「-ExMode」相当にする						
○ デフォルトを「-ExMode1」相当にする						
○ デフォルトを[-ExMode0」相当にする						

[矩形ポリゴン指定による連続印刷]オプション追加

[印刷]-[印刷実行]-[矩形ポリゴン指定による連続 印刷]-「保存ファイル毎にフォルダーを生成する」オ プションを追加しました。

※[印刷]-[印刷設定]-[外部フォーマット出力設定] より、外部フォーマット出力設定済みの場合のみ有 効です。

SXF や DXF などの外部フォーマット出力時に、一緒 に出力される関連ファイル(背景画像ファイル等)を、 1 つのフォルダーにまとめます。

ポリゴン指定にトス連続印刷					×
参昭する拓形ポリキルイヤー					~
				-	「 閉じる
☑ 選択ポリゴンのみ印刷	🗹 ユニオン(あれ	ば)単位で			
使用する印刷設定	設定 >>	☑ 保存ファイル毎	にフォルダーを生成する		
現在の印刷設定 (外部フォ	ーマット出力)			~	
□ 整飾プロジェクトの差込□	DBをこのポリゴンの内部	属性DBと置き換える	矩形ポリゴンサイズ	等から印刷 方	向自動調整 ~
 (矩形でなく)任意のポ のポリゴン領域を切り出 該当ポリゴンを選択対 マージン(%) 0 印刷設定での縮尺で ポリゴン領域に合わせ パリゴン属性で縮尺者 印刷枠に合わせて縦横」 (可能であれば)複数ペ 	パリゴン領域を印刷するして印刷 パリコン領域を印刷するして印刷 パリコーン (1000) () か領域外を塗りつぶす ン部分も塗りつぶす る [1] Code スプールする わら時度でする	スタイル(S) 十字 色(O) ン	ハッチ 透過度 (%)	14
フォルダと拡張子は常に印刷設 プリンタ出力時は"スプール名"と	定から参照されます として使用されます	5-98AL 70	印刷順(昇) 数値属性フ	頁)を決める (ールド	
使用しない(印刷設定に連	番を付加)		~ 使用しない		~
(印刷するのではなく)	プロジェクトとして保存	□もとの実座標を	を保持する		
保存先					

[想定整形地の生成(一括処理)]コマンドパラメーター追加

[ツール]-[図上計測]-[想定整形地の生成]-[想定整形地の生成(一括処理)]のコマンド「VirtRect2」へ、新型のコマンドパラメータを追加しました。

詳細につきましては、ヘルプをご参照ください。



[座標データのベクター変換]Z値オプション追加

[データベース]-[編集]-[座標データ]-[座標データのベクター変換]へ、「3D対応」のオプションチェックを追加しました。 このチェックが ON の場合、通常は XY 座標の一致でノード結合を 行いますが、XYZ 座標が一致している場合のみ結合ノードになる 処理を行います。

座標データからベクター	レイヤー生成	×
生成するレイヤー		
レイヤー名(N)	施設オープ2	✓ ОК
プロジェクト(P)	路線	↑ キャンセル
座標系(Z)		
○ 直角座標	系(R)	
○ 経緯度座	標系(D) 座標系情報·変更 >>	
○ペーパー座	標系(P)	
座標データ		
経度座標(L)	[1] 経度 ~	
緯度座標(B)	[2] 緯度 ~	
経緯度座標系の場	合、座標値は	
O Deg		DDMM.MMM
Z 座標	[3] Z値 ~	
	Z値のスケールファクター 1 💼	🗹 3D対応
● 座標点をポ1	イントに変換する(P)	
○座標点からフ	7ークに変換する(A)	
□ 座標点を	ノードに変換する(N)	
□ アークを対	台終点を一致させ閉塞させる(P) ポリゴンを生成する	3 ≠7
アーの起点ノフ	クノイールト 起意ノラク値 ○ 構造16ホッコンに	90
□選択されてい	るレコートのみを変換する	
属性データとして取り	込むフィールド	
[1] 経度		すべて選択
[2] _{程反} [3] Z値		すべて解除

[シェープファイルインポート].zip ファイル指定

[インポート]-[汎用/GIS]-[シェープ]-[ArcView シェープファイル]において、 .shp ファイルの他に、.zip ファイルを指定できるようにしました。 フォルダ中に .shp ファイルが含まれているものとして処理を行います。

アーク代表点 色・サイズ変更

```
アーク代表点の表示に関しまして、
[レイヤーエキスパート]-[キーリスト]パネルより、
色とサイズを明示的に指定できるようにしました。
```

使用例



[アーク平滑化]コマンドパラメーター追加

[編集]-[編集]-[編集作図]-[アーク平滑化]

コマンド: SpLine へ、新型のコマンドパラメーターを設定しました。 詳細につきましては、ヘルプをご参照ください。

[位相一貫性のチェック]コマンドパラメーター追加

[編集]-[編集]-[交点・ダブリアーク]-[位相一貫性のチェック] コマンド: TopologyCheck へ、新型のコマンドパラメーターを設定しました。 詳細につきましては、ヘルプをご参照ください。

[背景ピクチャー]パネル「キーリスト」ボタン追加

[プロジェクトエキスパート]-[背景ピクチャー]パネルへ、「キーリスト」ボタンを追加しました。 指定の背景ピクチャーに対して、任意のキーリストを設定できます。 詳細につきましては、ヘルプをご参照ください。

[背景ピクチャー]パネル「キーリスト」追加

コンパスバー表示

[プロジェクトエキスパート]-[背景ピクチャー]パネルヘ、「キーリスト」ボタンより、 キーリストに AutoSnap を設定することで、コンパスバーを表示画面の四隅にスナップします。 こちらは背景ピクチャーとしての座標に関係なく利用できます。

使用例

AutoSnap = 1 …右上 AutoSnap = 2 …左上 AutoSnap = 3 …左下 AutoSnap = 4 …右下 コンパスバーのサイズ指定

キーリストに Size を設定することで表示するサイズを指定します。 mm単位での指定となっており、デフォルトは 20mmです。 点対象(回転してもデータの描画範囲が変わらないもの)でないコンパスパターンの場合は、 デフォルトとして、点対象 = 0 をセットします。



3DビューII 基本設定				×
一度に取り込む最大ポイント(点群)数		5000	万点	
マウス動作時(間引き)での 最大要素数				
3Dポリゴンと標高メッシュ		20000 🔳	点	
背景画像		20000 🔳	点	
3Dポリゴンテクスチャー画像		20000 🔳	点	
標高メッシュテクスチャー画像		200000 🔳	点	
ライン (パイプ表現含む)		20000 🔳	点	
ポイント(点群)		1000000 🔳	点	
ポイント表示サイズ(ピクセル)	3			
マウス動作時 ポイント表示サイズ(ピクセル)	5			
規定値に戻す			K 1	キャンセル

[3DビューII 基本パラメーター設定]追加

[ホーム]-[3Dビュー]へ、[3DビューI 基本パラメーター設定]を追加しました。 3DビューIでの最大ポイント数や、ポイントの描画サイズ、マウス動作時の間引き設定などを指定できます。 [編集]-[交点・ダブリアーク]-[結合ノードを跨ぐアークを検知、分割、ノード結合]を追加しました。 結合ノードを跨ぐアークを検索して、分割・ノード生成、ノード結合などを行います。



[タイル形式画像背景表示設定]コマンドパラメーター追加

[地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像背景表示設定] コマンド RasterTileUrl に、オプションを追加しました。 詳細につきましては、ヘルプをご参照ください。

[アーク・ノード構造検査] 属性の保持

[編集]-[検査]-[アーク・ノード構造検査]で、アーク、ノードにエラーを検知した場合、ノードの再生成が行われます。 その際に、ノード属性ができるだけ保持されるようにしました。 また、座標が一致する端点ノードは、端点ノードのまま、保持されます。

[文字列引き出し線アークの生成]オプション追加

[編集]-[編集]-[文字列編集]-[文字列引き出し線アークの生成]へ、「円形枠線を生成する」を追加しました。 ※直角座標系での利用を推奨しております。



日付時刻関数の追加

[属性フィールドの設定]-「☑計算フィールド」 日付時刻関数に、DateTimeValid()を追加しました。 日付時刻型の内部表現が有効なら1、無効なら0となります。

「文字列のキーリスト」追加

[プロジェクトエキスパート]-[キーリスト]パネル内 文字列キーリスト

キーに任意の文字列、任意の値があった場合、

他のキーリストの値に、指定の%%任意の文字列%%があれば、指定の値で置き換えて認識します。

+-	値			
ベースパス	D:¥sample¥html¥			
PolHtml	%%ベースパス%% Pol.html			
PntHtml	%%ベースパス%%Pnt.html			
⇒PolHtml=D:¥sample¥html¥Pol.html				

⇒PntHtml=D:¥sample¥html¥Pnt.html

[メッシュポリゴン、格子ポイント生成]オプション追加

[編集]-[標高メッシュ]-[編集]-[メッシュポリゴン、格子ポイント生成]へ、「構成 HMesh 毎にレイヤーを作成」 オプションを追加しました。

ON の時、標高メッシュにあるそれぞれのデータ領域ごとにレイヤーを作成します。



「クイックバーの設定」ダイアログ サイズ変更

[ワークスペース]-[クイックバー]-[クイックバー] [クイックバー]クイックバーの設定ダイアログをサイズ変更可能にしました。 ボタンイメージで文字列が長い場合や画像が大きく見切れてしまう場合、横サイズを変更して、確認できます。

クイックバーの設定 (クイックバー 1)	×	クイックパーの設定 (クイックパー 1)	×
このクイックパーのタイトル(T) 1	🖌 ОК	このクイックパーのタイトル(T) 1	🖌 ОК
AAAAAAA Pting 2 rel ()[]	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	AAAAAAAAA Pting 2 ref ()]	 キャンセル 適用
	ペルプ		8 ヘルプ
ת ס ג	ポジンサイズ (論理ビクセル) 毎回(M) 200 商さ(H) 50	2	ポタンサイズ (論理ピクセル) 磁(W) <u>200</u> 略さ(H) <u>50</u>
-	➢ 読込(L) 読込・追加(M)		┣┣ 読込(L) 読込・追加(M)
_ 追加(A) 削除(E) 更新(R) 1 上へ - 手へ	↓ 保存(S)	追加(A) 削除(E) 更新(R) 合上へ 4 下へ	↓ 保存(S)
背景色		背景色 ────────────────────────────────────	
背景イメージ <u>ド</u> ビットマップファイル(B) 整列 タイル上に イメージ解除	に並べて表示 ~	背景イメージ <u> </u>	
クールルックを適応しない ち方向スクロールパー 古ボタンポップアップメニューを出きない ステーレない ステーレントロー	-	□ クールルックを適応しない 8方向2/20/ルパー □ 右ボタンボッブアップメニューを出さない 表示しない ~	
	-10.00.001.00	ステートコントロールスクリプト >>	

[集計・統計処理]オプション追加

[データベース]-[編集]-[演算・集計]-[集計・統計処理] ダイアログボックスへ、「総合計レコードを追加する」チェックを 追加しました。 デフォルトは ON のため、OFF にすることで、 「総合計レコードは生成されず、 第1フィールドの型は元の型で保持」されます。

集計·統計処理			×
☑ 第1キ−フィ−ルド(I)	[2] 地物種別コード	~	🖌 ОК
☑ 第2キーフィールド(J)	[4] 道路分類	~	へ キャンセル
☑ 第3キーフィールド(K)	[5] 道路状態	~	⑦ ヘルプ(H)
□ 第4キーフィールド	[1] レコード ID		
□ 第5キーフィールド	[1] レコード ID		
処理するフィールド(M)			
フィールド	集計処理機能	ファクタ フィールド	
[3] 種別	~ 合計	~ 使用しない	~
			降 除
 該当レコード数を集計 総合計レコードを追加 処理しないフィールドを 	ける(C) □ 選択レコードの。 1する を残す(U)	みを対象(S)	
実数型になるフィールドの小 結果出力データペース名(M	数桁数 1) 1)	~	
■現在のプロジェクトに	登録する		

「文字ボックスフィールドの編集」オプション追加

[データベース]-[編集]-[注記属性]-[注記属性の一括編集]の、文字ボックスフィールドの編集に関して、引き出し線の 「図葉上サイズ」のチェックも一括変更対象としました。

注記属性の一括編集	1				<		
ー括編集するフィールド 選択レコードのみ編集		注記		🖌 ОК			
□ 注記属性設定の有効・無効の設定		◎有効 ○無効		へ キャンセル			
□ 文字列として使用するフィールド		表示					
フォントとして転記するフィールド							
□ フォントの設定	参照(R)	MS UI Gothic	□枠	付けをする(E)			
	影付(f(S) 影	Hital 🗸 🗔	枠色は自動(A)	•			
	🗌 非表示フォント	アルファ値 0 0~255	枠幅	0.00 0~10(mm)			
□ 文字色として転	記するフィールド				r		
□文字色の設定		•			文字ボックス		
 □ 文字サイズとして □ 文字サイズの設 	て転記するフィールド				文字ボックスシンボル(T)		V
	定 🛛 高さ	3.00	8.504	-	0	_ ▲ 外周線の指定 スタイル(S)	9 4
	國幅	0.00	0.000	pt		実線 ~	0 /
	12 ピッチ	0.00 mm	0.000	pt 回定ビッチ		線幅(W) 0 (mm)	
文字整列として転記するフィールド						色(C)	引き出し禄
 文字整列の設 	定	左上 ~				■ 塗りつぶし色の指定(F)	図果エリ1A × 0 (
 回転角度として転記するフィールド 回転角度の設定 							Y O G
		0 g				アルファブレンド 0	25/1/(S)
□ 文字フスクシー 5	7転記するフィールド					二重線の間隔(W)	実線
□ 文字マスクの設定		O on O Off				0 (mm)	線幅 0
□→字ボックフと	ア転行オスフィールド	10.00					色 📃
☑ 文字ボックスの設定 設定 >>		設定 >> 🛛	文字ポックスの引出	線位置は上書きしない		Text	矢印サイズ 0
	11						形状
□ 稲尺表示制御 □ 縮尺表示制御	にして転記するノイール 1の設定 ロューー	F				- XCUIY>XMI	□ 起点方向(
- ARIA CREAT (P) IRP	····· □ 表示縮 編尺ポ 1	尺制御あり / 0 ト 1	/ 0	以下で表示		□ 縦横比を用空す?	始点 オフセット 0
(複数行時の)	行間ファクター		, ,	5A 1 43434		□ 載慎比を固正9る	

[特殊選択]オプション追加

[選択]-[個別選択]-[特殊選択]へ、

- 始終点が一致する右回りのアーク
- 始終点が一致する左回りのアーク を追加しました。

インポートしたシェープファイルの、中抜けポリゴンのアークの抽出に応用できます。



WebP へ対応

ウェブ用の画像形式である、<u>WebP</u>に対応いたしました。 拡張子は ".webp" で、

- [地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像背景表示設定]
- [地理院地図]-[タイル形式画像リンクデータ]-[タイル形式画像を広域イメージに登録] での画像利用にも対応しました。

また、[エクスポート]-[Web タイル]-[Web メルカトルタイル画像]に、 従来の PNG 形式に加えて、WebP 形式を追加しました。

[統合標高メッシュツール]の追加

[システム]-[統合標高メッシュ]へ、 [ツール](統合標高メッシュツール)を追加しました。 生成済の統合標高メッシュから、一部の切り出しや、指定図郭で分割してファイル出力を行います。



ご注意

- 1. 本文の内容に関して将来予告なしに変更することがあります。
- 2. 本文の機能説明とヘルプの機能説明に相違点が発生した場合はヘルプの記述を優先してください。
- 3. 本文の内容につきましては、万全を期して作成しましたが、技術的な内容について万一不審な点や誤り、 記載もれなどお気付きのことがございましたら(株) マプコンまでご連絡ください。

本書に記載されている会社名・商品名等は、各社の商標または登録商標です。



株式会社 マプコン

URL:https://www.mapcom.tokyo/ MAIL:info@mapcom.co.jp